

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名	農道・用排水路等整備事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	6 産業の健康	所属部	事業部	課長名 塚本 健洋
	施策	26 農業の振興	所属課	農政課	担当者名 日高 倫啓
	施策の柱	69 生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農地整備班	(内線) 1173
予算科目	会計一般	款 6 項 1 目 12 事業連番 10271 根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑨		コスト削減優先度評価結果 : ③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする事業で、計画的に農業用施設の整備を行なっている。 ・農産物の荷傷み防止と作業効率アップを図るために農道や用排水路等を計画的に整備する。 ・農地及び農業用施設の災害復旧事業。 ・農業基盤整備促進事業により排水等の整備を計画する。
【業務の流れ】	①区や農業者、行政からの要望を受ける→②要望の内容を踏まえ、現地確認→③測量や設計の業務発注→④地元説明会の実施→⑤工事発注の手続き・実施→⑥工事完了・検査 ・農地等災害復旧事業においては、上記以外に補助金申請等業務が発生する。
【主な予算費目】	・ 3職員手当 11 需用費 13 委託料 14 使用料及び賃借料 15 工事請負費 19 負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・ 農作物等の荷傷み防止、冠水防止又維持管理に費やす多大な労力を節減する観点から、農繁期を考慮した計画を行い、極力早期の着工を望む。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	工事については、農道の舗装工事や、農道付帯施設(溝清、転落防止柵等)設置工事、排水路補修及び浚渫工事、ため池や調整池の補修及び浚渫工事など、全17件を実施した。また、工事に関連し、2件の農道舗装測量設計の業務委託を実施した。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 農道等測量設計業務委託、農道等維持工事、農道改良工事
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 箇所 ア: 施工箇所数 イ: 地元説明会	予算の主な増減の理由 工事計画に伴う測量設計業務委託料及び工事請負費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農道、用排水等	(単位) 件 ア: 施工・委託数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農道、用排水路等の農業用施設を良好な状態に整備する。	(単位) 件 ア: 事業を完了した施工・委託箇所数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 農業用施設の整備により農作物品質確保や農作業労力の節減が図られ、収入に反映され则认为される。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 箇所		10	21	10	17	10	10	10	10
	イ 回		0	0	3	0	3	3	3	3
② 対象指標	ア 件		12	21	20	20	20	20	20	20
	イ									
③ 成果指標	ア 件		12	21	20	20	20	20	20	20
	イ									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円	1,188	5,251						
	都道府県支出金	千円	717	1,470						
	地方債	千円								
	その他	千円		189						
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	23,760	19,202	29,375	29,469	28,552	28,552	28,552	28,552
	(A) 事業費計	千円	25,665	26,112	29,375	29,469	28,552	28,552	28,552	28,552
(A)のうち指定経費	千円	623	712	713	712	711	711	711	711	
(A)のうち時間外、特勤	千円	168	196	197	196	195	195	195	195	
正規職員従事人数	人	4	4	0	4	0	0	0	0	
延べ業務時間	時間	800	800	0	1,050	0	0	0	0	
(B) 人件費計	千円	3,187	2,970	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	28,852	29,082	29,375	29,469	28,552	28,552	28,552	28,552	

事務事業名	農道・用排水路等整備事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/>達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 ・前年度実績による目標設定したため <input type="checkbox"/>目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/>向上余地がない ⇒【理由】 ・補助事業や単独事業で施工し、補助要綱・地元協議を基本に施工している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/>削減余地がない ⇒【理由】 ・委託業務を必要最小限に抑え、事業費を削減する。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・基本的に単年度事業であり、成果も達成された。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/>公平・公正である ⇒【理由】 ・受益者負担の検討余地がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・市が管理する農道や排水路であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

- ・要望に対する農道や排水路等の良好な整備を行った。
- ・要望や受益者の利便性に対応するため、早期に着工できるよう積算等の事務処理を目指す。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策